

高齢者保健事業実施計画(データヘルス計画) 第3期計画から第4期計画の主な変更点

第3期データヘルス計画
(令和3年度～令和5年度)

第4期データヘルス計画
(令和6年度～令和8年度)

共通評価指標の導入【新規】

目的

1. 被保険者の健康の保持・増進
2. 医療費の適正化

事業に関わる課題

1. 被保険者の健康状態の把握・「健康への気づき」
2. 健康課題に応じた保健事業の推進
3. 市区町村の取組の支援
4. 効果的な医療費適正化事業の実施

目的達成のため個別事業を実施

計画事業

1. 健康診査事業
2. 歯科健康診査事業
3. 医療機関受診勧奨事業
4. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
5. 長寿・健康増進事業
6. 低栄養防止・重症化予防等推進事業
7. 医療費等分析事業
8. ジェネリック医薬品使用促進事業
9. 医療費等通知事業
10. 医療費適正化啓発広報事業
11. 柔道整復師の施術の療養費適正化事業
12. あん摩・マッサージ・指圧、はり・きゅう療養費適正化事業
13. 適正服薬推進事業

事業結果や健康・医療情報の分析
新たな課題の抽出

目的

1. 被保険者の健康の保持・増進、健康寿命の延伸
2. 医療費の適正化

広域連合がアプローチする課題【新たに抽出】

1. 平均自立期間の延伸と共に、平均余命と平均自立期間の差（自立していない期間）を短縮
2. 被保険者の健康状態の把握と被保険者自らの健康保持・増進を促すため、健康診査の推進
3. 歯・口腔の健康状態を把握できる被保険者を増やせるよう、歯科健康診査の実施の推進
4. 生活習慣病の重症化による生活機能の低下等を防ぐため、生活習慣病の発症や重症化予防対策の推進
5. フレイル状態（低栄養・口腔機能低下・運動機能低下など）の予防・進行を防ぐ包括的なフレイル対策の推進

目的達成のため個別事業を実施

計画事業

高齢者保健事業

1. 健康診査事業【重点事業】
2. 歯科健康診査事業【重点事業】
3. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業【重点事業】
4. 医療機関受診勧奨事業
5. 長寿・健康増進事業、低栄養防止・重症化予防等推進事業（補助事業）
6. 適正服薬推進事業
7. 医療費等分析事業
8. 啓発広報事業（医療費適正化の内容も含む）

医療費適正化事業

1. ジェネリック医薬品使用促進事業
2. 医療費等通知事業
3. 柔道整復師の施術の療養費適正化事業
4. あん摩・マッサージ・指圧、はり・きゅう療養費適正化事業
5. 海外療養費調査業務等業務委託事業【新規計画事業】

重点事業の設定

計画事業の推進により
共通評価指標の目標値達成を目指す

計画事業の評価指標と別に全国共通の評価指標を設定

目標：被保険者の健康保持・増進

1. 健診受診率
2. 歯科健診実施市区町村数・割合
3. 質問票を活用したハイリスク者把握に基づく保健事業を実施している市区町村数

目標：一体的実施の推進 以下の高齢者保健事業（ハイリスクアプローチ）の実施市区町村数増加

1. 低栄養
 - 低栄養に関わる相談・指導
2. 口腔
 - オーラルフレイル・口腔機能低下予防に関わる相談・指導
3. 服薬（重複・多剤）
 - 重複・頻回受診者、重複投薬者、併用禁忌薬がある者及び多剤投薬者等に対する、医療専門職による相談・指導
4. 重症化予防（糖尿病性腎症）
 - 糖尿病性腎症の重症化予防に関わる相談・指導
5. 重症化予防（その他身体的フレイルを含む）
 - 生活習慣病や身体的フレイル等の重症化予防に関わる相談・指導
6. 健康状態不明者
 - 健診・医療や介護サービス等につながらず、健康状態が不明な高齢者等の把握及び必要なサービスへの接続

目標：一体的実施の推進 ハイリスク者割合の減少及び平均自立期間の延伸（KDBを活用）

1. 低栄養
2. 口腔
3. 服薬（多剤）
4. 服薬（睡眠薬）
5. 身体的フレイル（ロコモ含む）
6. 重症化予防（コントロール不良者）
7. 重症化予防（糖尿病等治療中断者）
8. 重症化予防（基礎疾患保有＋フレイル）
9. 重症化予防（腎機能不良未受診者）
10. 健康状態不明者
11. 平均自立期間（要介護2以上）※

※KDBシステムにおける健康寿命を「平均自立期間」と呼称し、「日常生活動作が自立している期間の平均」を指標としています。介護データを用いて「要介護2以上」を「不健康」として、毎年度算出しています。（平均余命からこの不健康期間を除いたものが、平均自立期間です。）